

| | | | |
|--|-------------------------|------|--------------|
| 科目区分 | 研究科目 | | |
| 授業科目名 | 法医科学 | | |
| 担当者名 | 美作 宗太郎 | 配当年次 | 2, 3年次 |
| 単位数 | 15単位(選択) | 実施場所 | 研究室, 法医解剖室など |
| 授業形態 | その他 | | |
| 開講曜日・時間 | 科目履修登録終了後に受講者へメールで連絡します | | |
| 授業の概要・到達目標 授業の目的: 法医実務を中心に問題意識を持ち, 研究テーマを自ら考えて研究を遂行することを目的とする。 授業の到達目標: 作成した論文を学術論文誌に公表後, 学位審査を経て, 学位取得を目標とする。 授業の概要: 本科目においては, 法医解剖症例を通じて死因診断技術の向上に寄与する研究を行うとともに, 希望に応じて法医画像診断(CT, パノラマX線撮影装置, 超音波診断装置)に関する研究や, 小児虐待にみられる損傷を客観的に証明するための研究などを指導する。 | | | |
| 問い合わせ先(氏名, メールアドレス等) 美作宗太郎, mimasaka@med.akita-u.ac.jp | | | |
| その他特記事項 履修に関する情報 ※ 実際の法医解剖に関する情報を扱うので, 履修者には守秘義務を厳守して頂くことを確約して頂きたい。 ※ 授業形態は, 講義, 法医実務の実習等を予定しているが, 症例検討会等に参加して頂く場合もある。 ※ 社会人大学院生など, 勤務等で授業に出席できない場合には日程の調整に応じる。なお, 履修者には法医解剖(休日・夜間を問わない)に参加して頂く場合もあるので, 履修希望者は履修を決める前に上記に相談することが望ましい。 ※ 履修者の持つ資格・経歴により, 研究内容を調整することがある。 教科書・参考文献: 研究テーマにより別途指示する。 自学自習時間における学習内容: 到達目標や授業内容に応じた準備学習を行うことが望ましい。 | | | |